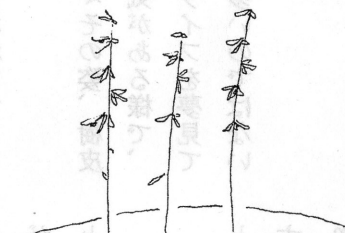


われもこつ 第28号

2010年2月10日 発行



降り積もった雪からによきによきと
突き出ているコバギボウシの枯れた茎。
茎の先にはいくつも実をつけて。
冬の間、黒い羽根をまとった種がこぼれて
雪の下で春を待ちます。

軽井沢の樹木 — シラカバ — p.2

軽井沢の貴重な植物 — サイハイラン — p.7

会員の声 わたしのシンボルツリー／軽井沢の自然に夢中！ p.4

軽井沢の樹木 — シラカバ —

星野 裕一

「白樺あお空・・・」で始まる千
昌夫のかつてのヒット曲をなつかし

今回、その白樺についてお話しし
ましょう。

す。この歌を作詞したのは千曲川上
流南牧村出身のいではく氏（本名
井出博正）で、ここで歌われる白樺
は正に佐久の千曲川源流に程近い故
郷の情景を詠ったと言われます。

白樺という木は元々その姿、樹皮

まず白樺という名ですが、かば、
かんば、しらかんばは白樺をさして
いると思つてよいでしょう。元々北
海道アイヌの人々が樺の木を「か
には」と呼んだのが始まりで、それ
が変化して「かば」になったとのこ
とです。

の色等からも大変人気がある様で、
白樺に囲まれた別荘ライフを夢見て
別荘をもたれる方も多いのではない
でしょうか。

白樺は北海道から本州中部以北の
とても日当たりの良い山地を好みま
す。特に焼け野原がたまたま出来た
り、森林の伐採跡にはかなり実生を

見る事ができます。白樺は特に好む
土質は無く、酸、アルカリ両性でも
生長し、一斉林を作り易く、成長が
早いのも特徴です。白樺は荒地へ入
り、種を落とし、成長し葉を落と
し、周りの仲間と共に成長し、土地
を肥やす。そして樹高二〇mを限度
としているようです。かつてわたし
の母校の小学校の校歌にも歌われた
白樺ですが、何故か最近は見かけな
くなりしました。特に群生した白樺林
は軽井沢では出会う機会がめつきり
少なくなりました。

白樺の群生地として私が知るのは
佐久穂町の白駒の池へ行く途中の八
千穂高原自然園があり、ここは白樺
林が多く残り、レンゲツツジ等の花
の咲く頃は特にひととき白樺の美し
さを見せてくれます。

佐久穂町に白樺の群生地の記事を聞いてみますと、佐々木定男町長が教えて下さいました。氏によると元々その白樺林の一带は牧場で、牛や馬を飼っていた由。町長ご自身もかつてはご夫婦だけで来る日も来る日もひっそりと山ごもりをしていたとの事です。一九六〇年に国道が出来て七〇年には廃止されてしまいました。

町長がおっしゃるには牧場をやめるのがもう少し早ければ、カラマツの植林事業の盛んな頃と重なってカラマツの山になっていたでしょう。時代の変化で放置された結果が白樺林に生まれ変わったとの事でした。ただし美しい白樺林を残すにはある程度は人の力を入れる事も大切だそうです。

現在も白樺林はとても美しく、一

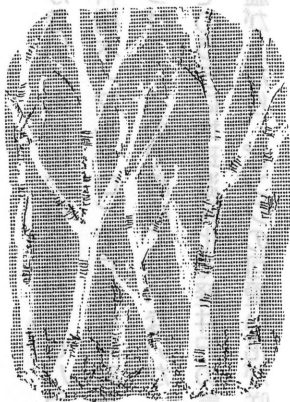
面の白樺林と思われませんが、ミズナラ等の広葉樹、アカマツ、カラマツ等々の樹木とも共生しています。永年に亘って美しい白樺林を形成しているのは白樺と地表に生きる笹との協調関係があつた様に思えます。

白樺は美しい樹皮を利用して土産品にも使われたり、樹液から品の良い甘さのジュースにもなっています。また樹皮は油分を含み、白樺油を作ったり、芳香性もあるので化粧品にもなっています。

白樺に似て、軽井沢に自生している仲間にはダケカンバ、ウダイカンバがあります。両者とも標高一三〇〇m以上に生え、ダケカンバは黄色がかつた幹肌でずっしり風格を感じます。ウダイカンバは軽井沢には数が

少なく私も友人の〇氏より貴重な本を教えてもらいました。ウダイカンバは材としても優秀で器具、楽器にもなるそうです。ウダイカンバの名の由来ですが、鶺鴒が灯す松明からきています。雨の中でも燃える事ができる松明は鶺鴒松明（うだいまつ）と言つてウダイカンバの皮から作られた物との事です。

現役の活火山の下で生活する私達にとつて次世代への道を広げる役割を果たす、そんな事を教えてくれる白樺の仲間たちです。



シンボルツリーは甘い香り

仕事から全国の森を歩いてきた。エゾマツ・トドマツ、スギ・ヒノキ、ブナ・ミズナラ、シイ・タブの巨樹など、心に残った木・樹を数え上げたら限がないが、心に残る淡い思い出の木を一つ紹介したい。

新潟県新発田市での小学生時代、二宮金次郎の石像の後ろに高々と伸びていた木がある。秋になると黄色の不思議な実を付けている。いつになったら落ちるのか、どうやったら手に入るのか、内気な自分には先生



「ケンとメリーの木」

やはり、美瑛町にある「ケンとメリーの木」ですね。見渡す限りの野原に、すっきりと立つポプラの木影は印象的です。枝を出来るだけ横に広げて、他の木を押しつけようという木が多い中で、成長するとキャベツのように枝を巻いて、上にだけ伸びてゆく様は奥ゆかしく、印象的です。二〇年前に訪れたときには無かったのですが、昨年訪れたときには、隣に家が建っておりまして。その中から見た「ケンとメリーの木」の雰囲気を読んで描いてみましたので、ご覧いただければ幸いです。

〈佐藤和夫 富良野〉

検索して下さい！

に相談する勇氣(?)はなかったようである。ある日の下校時、ふと木の下に目をやると落ちていたのではないか。子供の手には余すべからぬ大きな実。ツルンとした皮膚を手でさすりながら何気なく実を鼻に近付けた。「なんだー、この甘い匂いは(当時、香りなどと言った品のある言葉など知る由もなし)」「急いで家に帰る自分は、この宝物を誰にも気づかれないように服の下に隠して帰った。息を切らせて帰ると母親に、実の名前を聞いた。「いい色をしているね。カリン、と言うのよ。どこにあったの?」以降、秋になるとキンモクセイの甘い香りとカリンに胸をときめかせている。孫娘に「かりん」と命名した責任もあり、軽井沢の庭にカリンを一本植えたが、初年度に花を咲かせたきり、以降花がつ

どんぐりが大きくなって...

二〇年前、まだ小学生だった子供たちとどんぐり運動に参加して、ミズナラの苗木を植えました。久しぶりに山に行ってみたら元気に成長していて感激!さっそく息子に写真を送りました。〈どんぐりの母〉

癒しの木



引越す度に気になる木と出会います。川のそばに任んでいた時は、湿原にポツンと立つ柳の木。別荘地では空き地で大きく枝を広げた一本の木(樹種は思い出せませんが)。お散歩がてらほとんど毎日会いに行

かない。御代田の街路樹が同じバラ科樹木(マルメロ)で立派な果実をつけているので諦めてはいないが、そのうちに地球温暖化で軽井沢の気温が上がリ、ピンクの可愛い花が咲く日まで気長に手入れだけはしておこうと思っている。〈大槻幸一郎〉

隣の「いろはもみじ」



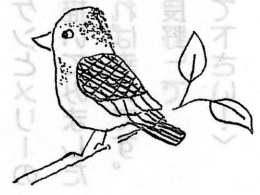
うちの台所から眺められる丁度良い位置に、お隣の「いろはもみじ」の大木があります。秋になるとそれは見事に色づいて、今では私のシンボルツリーです。

昨年、初めて軽井沢駅から近い「友愛山荘」のもみじの大木が紅葉しているのを見て、また一つシンボルツリーに加えました。〈洋子〉



きました。現在の我が家のシンボルツリーは、地面から二本の幹に分かれた山桜の古木とその二本の幹の間からスクツと生えるカラマツです。山桜はゴールデンウィークが終わった頃、淡いピンクの花を咲かせそれはみごとです。個人的なシンボルツリーはヤマモミジです。庭の片隅でひよろひよろと実生していたのを何度か移植して、今は4〜5メートルの高さまで育ちました。通り道の脇に生えているのでしょっちゅう撫でてはそのなめらかな樹肌に癒されています。〈裕〉

軽井沢の
自然に夢中!



来なくなった赤い鳥と
ホタルの乱舞

五年前から軽井沢で一年中過す様
になって我が家の庭で極端に変わっ
た記憶、それは一昨年まで一月から
二月終りまで来ていた赤い鳥「オオ
マシコ」が消えてしまったこと、そ
してこの三年間で大増殖したホタル
が七月にはイルミネーションの様に
飛び交うようになったことです。ピ
オトプガーデンを目指して努力を
してきたつもりですが、渡り鳥であ
るオオマシコに覚えてもらうことは

無理だったのか見られなくなって残
念です。一方でホタルの方は、三年
前まで数匹が光っていただけでし
たが、今では作った池の周りが明る
くなる位に飛ぶようになりました。お
そらく池で大繁殖したカワニナを餌
に年々増殖しているものと思いま
す。自然回復のシンボルのように見
られているホタルは、実は都会でも
増殖させることが出来るものであ
り、我が家の庭のように小規模の環
境調整で復活が可能なのです。本当
の環境変化はオオマシコのような渡
り鳥の動向に現れているのではない
かと思います。町ぐるみで環境改善
を図らなければ、二度とオオマシコ
に会えなくなるのではないかと心配
しつつも、無策で毎朝、庭に赤い鳥
の姿を求めている自分が惨めに思え
る今日この頃です。〈白井 穆〉

ルリ草の咲く頃に



五位前に近所に住む会員の方が
我が別荘の東側の斜面にルリ草が咲
いていると写真をメールで送って
くださった。五月の初旬に行く。わす
れな草そっくり。思ったよりたくさ
ん咲いている。こんな可愛い花が我
が家の庭に咲いてくれているなん
て。毎年この季節にはこようと思っ
たが、残念なことにまだ一回しか会
っていない。絶滅危惧種だそうだ。
どうやったたらルリ草が斜面いっぱい
になるだろうか。〈村井妙子〉

自生の茸



軽井沢での生活が始まった三年前の秋に自宅を建築した大工さんが庭の柳の木にスルスルと登って茸を採って来た。早速その茸を言われた様に調理して食べたが、特においしいとも思わなかった。(後でわかった茸の名前は又メリスギタケと言う。)しかし自宅の庭に食べられる茸の木があるのが何となく嬉しく、春と秋の収穫を楽しんだ。

昨秋、われもこの会のメンバー数人と茸採りに出掛け、色々教えてもらいながら、クリタケ、リコボウ、ムラサキシメシ、アカモミダケ等を採用した。身近に食べられる自生の茸があるのに感激。後日一人で

出掛け、クリタケの密生しているのを見つけた時の喜びは忘れられない。今年の秋はウォーキングをかねて楽しむつもりだ。

〈M・T〉

軽井沢の貴重な植物

サイハイラン (ラン科サイハイラン属)

七年位前の話、軽井沢町の林の縁にひっそりと咲いている花を見付けた。サイハイランというラン科の花。淡褐色に紅紫色の混じった細弁の花を十数箇下向きに付けている。

名の由来は昔の武将が陣中指揮に使った采配の形によく似ているところからきている。道路より一段低い草叢にはスミレや小草と一緒に笹がはびこっていた。地味な花だから人目を引く事はない。笹の中に花穂をかくし、これで大丈夫とその場を離れた。その花の事は誰にも話さず、そこを通る時は「元気でね」と心に念じた。落ち葉がかぶさり誰にも見つけたりっこないと思っていた。翌年春が来て五月になってサイハイランはと笹を分けて探したが姿がない。とうとう二度と会う事はなかったが、今でも私の記憶の中にサイハイランは咲いている。(小泉)



花期 5～6月
高さ 30～50cm

われもこうの会
2009年度総会のおしらせ

〈日時〉 3月7日(日)午後1時30分より

〈会場〉 軽井沢町中央公民館 第1会議室

- ◆会場準備のお手伝いをできる方は1時15分頃集合して下さい。
- ◆マイカップ持参でお越し下さい。
- ◆昨年われもこうの会の原っぱで収穫した野の花のタネをお配りします。

花を金曜日に観る散歩の会のご案内

ハナキンサンボカイ

花金散歩会 がスタートします。

金曜日の朝はお散歩しながら

花や木の観察をしてみませんか。

今年は植物園内を歩きます。

参加申込は不要。気楽にご参加を。

〈日時〉 4月～11月の第2・第4金曜日

9:00～10:00

〈場所〉 軽井沢町植物園

〈持ち物〉 100円(入園料です)

筆記具(必携) お好きな方はカメラも

主催: 軽井沢サクラソウ会議

われも券の使用期限が
せまっています!

お財布やひきだしに使い忘れの

われも券がありませんか?

3月31日までにお使い下さい。

会員募集中!

地域で何かボランティアしてみようかな…
という方、「われもこうの会」はいかが?
野の花の名前も覚えられますヨ。

年会費・・・2,000円

65才以上と18才未満の方……………500円

家族で会員になる方2人めから…500円

▲▲▲▲▲▲▲▲ 編集後記 ▲▲▲▲▲▲▲▲

「われもこう」の挿絵を描くために久しぶりに子供時代の(40年以上前の)植物図鑑を開いてみました。子供の頃は東京に住んでいたのが図鑑でしか見たことがなかった野の花が軽井沢では出会うことができます。これもこれもという感じでページをめくりました。春が待ち遠しい!〈裕〉

ホームページもご覧ください

<http://www.h5.dion.ne.jp/~waremoko/>

発行/われもこうの会

事務局 TEL・FAX/ 0267(46)2505